

森の健康診断

日時：平成28年9月11日（日） 9：30～15：30

講師：丹羽健司、清水紀子

概況



森の健康診断

この人工林はどんな状況なのか、どれくらい間伐をすればよいのか。感覚的なものに頼るのではなく、誰でも統一した答えを出せる方法が「森の健康診断」である。簡単に入手できる道具を使って、森の状況を科学的に評価する手法を学んだ。

2グループに分かれて森の健康診断を実践し、調査地間の比較や森の将来設計のワークショップを行った。

○調査地の設定

- ・朗読係、測定係、記録係などの役割分担
- ・調査地の設定
- ・混み具合の感覚的な判断
- ・中心木の決定
- ・写真撮影

○植生調査

- ・人工林の種別
- ・調査枠の設置
- ・斜面の向きと傾斜度

- ・落葉層の被覆率
- ・腐植層の被覆率と厚さ
- ・草本・低木の被覆率
- ・草本・低木の種数
- ・1.3m 以上の木の被覆率
- ・1.3m 以上の木の種数
- ・1.3m 以上の木の胸高直径

○混み具合調査

- ・枯損木とタケの侵入の有無
- ・植栽木の胸高直径
- ・中心木、平均直径木の樹高
- ・林分形状比
- ・ha あたりの本数
- ・平均樹間距離
- ・相対幹比(Sr)